

2004年2月25日

この報道資料は本日ドイツで発表された英語版の翻訳です

BASF ペトロナス ケミカルズ社、 マレーシアの新設 1,4-ブタンジオール工場は生産能力を下回るレベルで活用

- 現在のマーケットの状況に対応する為
- 顧客に供給するブタンジオールは BASF のグローバルネットワークを通じて確保

BASF ペトロナス ケミカルズ社 (BASF PETRONAS Chemicals Sdn. Bhd.) は本日、2004年1月より、マレーシアのクアンタン地区で操業している、1,4-ブタンジオール (BDO) 工場に関して、現在のグローバルマーケットの状況に対応し、2004年3月1日付で一時的に生産能力を下回るレベルで活用する事を発表しました。BASF ペトロナス ケミカルズは、BASF (本社 ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン) と、マレーシア国営企業のペトリウム ナショナル ベルハド社 (以下、ペトロナス) との出資比率60対40の合弁会社です。

BASF はブタンジオール (BDO) の世界的なマーケットリーダーであり、欧州、NAFTA、アジアと世界各地に持つプラントのネットワークによって確実な供給体制を築いています。従って、今回生産能力を下回るレベルで操業する事による顧客各社への影響はありません。

BASF の中間体事業本部のプレジデントであるウォルター・グラムリッヒ (Dr. Walter Gramlich) は、次のように述べています。現時点で生産能力を下回るレベルで工場を活用する事により、操業効率性を高めることができます。また、マーケットの状況の改善に柔軟に対応することができます。当社はブタンジオール市場に長期的にコミットメントを示しているため、これはとても重要な点です。

BASF は、ブタンジオールおよびその誘導品を製造する世界最大メーカーであり、全世界における年産総能力は、BDO換算で57万5,000トンです。ブタンジオールは、エンジニアリングプラスチック、ポリウレタン、弾性樹脂等の原料になります。

ペトロナスと共同で運営しておりますマレーシアのクアンタン拠点は、総面積150ヘクタールの広さをもつ、BASFにとってはアジア初となる統合化学生産拠点 (「フェアプラント」) です。2000年月中旬より稼動しております同拠点では、現在、ブタンジオールのほか、アクリルモノマー、合成ガス、オキシアルコール、無水フタル酸、可塑剤を製造しております。

BASF ペトロナス ケミカルズ社のマネージング・ディレクター、ジョン・ファスティアー (John Fastier) は、BASF もペトロナスも、この合弁会社の成功を目指して取り組んでいます。マーケットの状況に対し柔軟かつ効果的に対応できる能力は、この成功に不可欠な要素です」と述べています。

BASF ジャパン (株)
コーポレート・コミュニケーションズ
住所：〒102-8570 東京都千代田区紀尾井町 3-3
電話：03-3238-2376
Fax：03-3238-2514
<http://www.basf-japan.co.jp>

+65 6432 3684 (Corporate Communications Asia Pacific)
+49 621 60 9 99 38 (Corporate Media Relations BASF Group)
E-Mail: presse.kontakt@basf-ag.de

BASF

news release

また、クアンタン拠点をさらに充実させるため、BASFと東レ株式会社は、両社の折半出資会社を設立し、ポリブチレンテレフタレート(PBT)ベースレジンを製造する契約を締結した事を発表しました。新会社、Toray BASF PBT Resin Sdn.Bhd. (東レBASF PBTレジン社)は、2006年初頭の操業を目指し、クアンタンのフェアブントサイト内に年産6万トンのPBT工場を建設する事になります。

BASF について

BASF (ビーエーエスエフ)は、原油と天然ガスの他、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカル等の高付加価値製品をお客様に提供する世界の化学業界のリーディング・カンパニーです。BASFの統合生産・経営システムは、ドイツ語の「フェアブント」として知られ、同社の特異な強みであり、コスト面での優位性と競争力をもたらしています。BASFは「持続可能な発展」の基本方針に則って企業活動を行っています。2002年度は約320億ユーロ(約340億ドル)の売上高を計上し、世界で8万9000人の従業員を抱えています。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、パリ(BA)、チューリッヒ(BAS)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp、また BASF アグロ(株)のホームページアドレスは www.basf-agro.co.jp です。

BASF ペトロナス ケミカルズ社について

BASF とペトロリアム・ナショナル・ベルハド社は1997年、BASF ペトロナス ケミカルズ社を設立し、マレーシアのパハン州ゲベンに、世界的な統合化学生産拠点を建設しました。出資比率は BASF が60%、ペトロナスが40%です。34億マレーシア・リンギットを投じて、アクリル・モノマー、オキソ類、ブタンジオールの製造設備を建設しています。BASF ペトロナス ケミカルズ社は、コーティング、粘接着剤、製紙、おむつ、繊維、レザー、ゴム、プラスチックといった産業で増大しつつある原材料需要を満足するため、高品質化学品を各種製造します。最新の技術とノウハウが投入される BASF ペトロナス ケミカルズ社は、マレーシアや周辺諸国で成長を続けるメーカー企業へ製品を提供する重要な役割を果たします。

本件についてのお問い合わせ先
BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ 小池
Tel. 03-3238-2376

BASF ジャパン(株)
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570 東京都千代田区紀尾井町3-3
電話: 03-3238-2376
Fax: 03-3238-2514
<http://www.basf-japan.co.jp>

+65 6432 3684 (Corporate Communications Asia Pacific)
+49 621 60 9 99 38 (Corporate Media Relations BASF Group)
E-Mail: presse.kontakt@basf-ag.de